

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

集中治療室入室患者における身体拘束とせん妄

および Post Intensive Care Syndrome の関連性

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年4月から2021年3月までに当院集中治療室に入室していた方

2. 研究目的・方法

せん妄は、急激に精神状態が変動し、思考力や注意力の障害が生じる症状であり、集中治療室入室患者さんにおいて頻繁に認められます。せん妄は、在院日数の長期化や認知機能障害などの後遺症、死亡率の増加に関連するとされています。また、Post Intensive Care Syndrome（以下、PICS）とは、集中治療室に在室していた患者さんにおいて、集中治療室在室中もしくは退室後、退院後に生じる運動機能・認知機能・精神機能の障害であり、退院後の生活に大きく影響するものです。そのため、集中治療においては、せん妄やPICSを可能な限り予防することが望まれます。

身体拘束は、転倒予防など患者さんの安全や点滴などの治療器具の保護のため、集中治療室では頻繁に行われます。身体拘束は、せん妄やPICSの原因となることが示唆されていますが、その因果関係に関しては明らかにされていません。そこで、集中治療室入室患者さんにおいて、身体拘束とせん妄およびPICS発症の関連について明らかにすることを目的に本研究を行います。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2022年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病名、集中治療室入室期間、身体拘束の状況、服薬の情報、手術歴、人工呼吸器の有無、せん妄の有無、筋力、動作能力、認知機能などをカルテから収集します

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院リハビリテーションセンター 氏名：齋藤 甚
住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000

研究責任者：

所属：昭和大学病院リハビリテーションセンター 研究責任者：齋藤 甚